

夏場のマスク着用について!

日中は気温も高くなりましたが、子どもたちはお外あそびが大好きです。コロナ感染だけではなく、熱中症も予防しなくてはならない時期です。園庭はもちろんマスクを外して活動しますが、室内でも暑さや息苦しさを感じたときには、マスクの着用をしないこともありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

また、引き続き、園児さんだけでなく、ご家族の中に体調の悪い方（発熱、咳など）があらわれる場合は、医療機関で受診し、診断が出てからの登園をお願いします。

大変な時は、  
周囲に甘えれば  
いいんだよ

子育ては残念ながら、楽しいことばかりじゃない。時には自分たちだけでは手に負えないこともありますよね。そんな時にはがまんしないで周囲の手を借りてみましょう。お返しは、急がなくてもいいですよ。いつか、今度は、誰かに力を貸してあげられる時が必ず来るのだから…。

全国私立保育園連盟  
子育てメッセージより

コロナ禍での決断と、  
変わらない大切にしていること

5月、ゴールデンウィーク明けに4歳児さんを中心にコロナウイルスの感染が拡大してしまい、4歳児さんは4日間、3歳児さんは、1日臨時休園とさせていただきました。4歳児さんは、昨年5月に陽性と診断されたお子さんがいたため、集団PCRを受け、結果が出るまで休園ということがありました。2年続けて同じ学年の皆さんに大変ご迷惑をおかけし、申し訳なく思っておりますが、皆さん「現状では、どこで感染するかわからないから、大丈夫。」「先生たちも大変」と、温かなお言葉をかけていただき、救われる思いで過ごしました。その間、乳児さんには感染者が出ていないということで、保育参観を思い切って開催しました。開催を決断したときは、不安はありましたが、子どもたち、保護者の皆さんの笑顔を思い浮かべ、開催の決断をしました。終了後、アンケートでご意見を伺ったのですが、参加された方は、みなさん「子どもの日頃の様子を見ることができ、楽しかった。」「不安はあったけど、参加してよかった」と嬉しいご意見を頂きました。参加されなかった方も「感染の心配がなければ参加したい」と記入されており、すいこうの保育へ関心を持っていただいていることを嬉しく思います。そして、職員もいろいろ不安を持っていると思いますが、登園している子どもたちがいつもと同じように楽しく過ごせるよう、あそびの環境をあれこれと工夫している姿も手前味噌ではありますが、嬉しく思っているのです。もちろん、コロナに感染した者にしかわからない辛さや不安、戸惑いもあるかと思いますが、乳幼児のより良い成長を願い、そこに携わっている者の使命として、すいこうは、今までどおり「コロナ感染対策は、万全に、保育は大胆に」という思いで、今できる限りの楽しい保育環境づくり、またこれからの行事に取り組んでまいりたいと思っています。子どもたちにとって、すいこうはいつも「明日も来るね。」「一緒に遊ぼうね」というわくわくする園でありたいと願っています。

そんな中、先日、年長組さんは、広島市森林公園で忍者修行体験をしてきました。前日までお休みをしていたお子さんもいましたが、その日は、全員出席、しかも雨予報を覆す晴天。修行日和です。修行は、目を

を閉じて、ロープを頼りに坂を登っていく「目隠し修行」、林の中に隠れている忍者を探す「カモフラージュ」、弓矢を引いて的に当てる「ゆみやの修行」など7つの修行を師匠と言う名の森林公園職員の方の案内で体験しました。それぞれの修行場に行くのもちよっぴり怖い山道を登って行きます。しっかり踏み込んで歩かないと、ずるずると下がって行きますが、「怖い」と言っているお友だちの手をさりげなく取り、一緒に歩いている子、手を使いながら、四つん這いになって登り、「こうやって登るといいよ」とアドバイスをする子、それを真似てやってみる子、保育者や師匠が差し出す手を振り払い、一人で頑張ろうとする子、子どもたちは、最大限の勇気を振り絞りながらもドキドキ感が伝わってきました。7つの修行を達成するために必要な時間は、それぞれ違っていました。何とか全員制覇して、忍者のたまご「にんたま」として認めていただきました。子どもたちは、「怖かったけど楽しかった。」「またやりたい。」などと、やり遂げた達成感を感じているようで、その笑顔は何とも言えず誇らしげで、可愛いと思えました。忍者修行は、年長さんのみ参加できるプログラムなのですが、年長さんになるまでに、最後まで頑張る経験が乏しかったり、友だちと協力したり、自分で考えたりしてあそびを進める経験が少なかったりすると、せっかくの忍者修業体験も「疲れた」とか、「怖かった」という思いしか残らないかもしれません。先月もお伝えしましたが、年長さんがいかに楽しく、意欲的に年長児としての1年間を過ごせるかというカギは、赤ちゃんの頃、「何だろう」と不思議に思ったことにさりげなく保育者が「不思議だね」と心に寄り添ってきたか、保育者やお友だちと好きなあそびを繰り返し、納得のいくまで楽しんできたか、友だちとけんかをしながらも一緒に遊ぶ楽しさを味わってきたか、などということが大きく影響していると思っています。年長さんの今の姿は、赤ちゃんの時から保護者のみなさん、私たち保育者を含めたくさんの方との愛情あふれる関わりがあるからこそなのです。赤ちゃんの時から一人ひとりの思いに心を馳せていく関わりをこれからも大切にしていきたいと思います。

園長

地域への子育て支援

認定こども園には、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」という、教育・保育の在り方を明文化している物があり、その中に「子育て支援」という項目が掲げられています。園の保護者だけではなく、地域の子育て中の保護者に対しても支援を行うことが義務付けられており、そのあり方は各園様々です。すいこうでは、できるだけ園を開放し、地域の方にも子育ての楽しさや大切なことなどをお伝えできればと思っています。コロナ感染対策も園児さんと同じようにご利用ごとに行っており、園内で感染が起こった時には、お休みするなど気をつけながら開催しています。たくさんの方がご利用になるということで、不安に思っておられる方もおられるかと思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします

じゅめじゅめ じとじといよいよ  
梅雨 入り!

人間にとっては、うっとうしい雨でも、雨が降ると元気に活動し始める生き物がいます。

かたつむり  
巻き貝の仲間  
雌雄両方の機能を持っている。こけや野菜を食べる



あまがえる  
鳥や蛇から身を守るため、葉っぱの上では緑、木の幹の上では茶色に色を変える



あじさい  
花びらのように見えるのは、  
がく 花は真ん中にある



この時期だから楽しめることを考えると、雨も楽しいものになることでしょう